

み ん な の 文 芸

中田國太郎選 投稿数16首

スーパーでスリランカ製の輪ゴム買い地図で旅する熱帯の国 皆野 金子善次郎
 (評) 日常生活の中で見過ごしてしまっような小さな輪ゴムを、歌材に取り上げ、作品化する作者の力量に感心した。インド半島の南東に浮かぶセイロン島がイギリスから独立してスリランカになった。この熱帯の島に「地図で旅する」という第四句が利いている。地図を広げて空想にふけり旅のロマンを求めるのも特に高齢者にとっては楽しいものである。画家の中田一村が命がけで描いた南の島を思い出す。特に白い大きな花と赤い小鳥のアカシヨウビンの光った嘴。新井作、「ぬくもりの」がいい。塩田作、発想がおもしろい。浅見作、人生の悲哀が胸をつく挽歌。

母の味恋しき今宵ぬくもりの鍋にしみいる味を含みぬ 皆野 新井 愛子
 厨にて塩水を吹く浅蜷あり熱湯かけるあゝ吾が罪は 皆野 塩田 千代
 夫逝きて辛さ癒えぬに母も逝き悲しみ募りて遣る瀬なき日々 下日野沢 浅見 豊子
 山峡の祭り参加に帰省せし若者の獅子とび跳ねて舞う 皆野 新井 茂
 少年の撒く餌に鯉らさわだちて開けたる口に秋の日の差す 三沢 真下 杏子
 枯れ果てし秋の草花引き抜けば残り香出でて種こぼれ落つ 三沢 新井 民子
 光る汗波間をつよく乗り越えて米寿迎える彩どりに酔ふ 下日野沢 山本ミチノ
 東屋で山里見れば蝸の声追いかける耳確かなり 金崎 浅見富美子
 四十年裁ち縫ひを経し我が足の誇りと思ふ座り胼胝かな 皆野 笠原三江子
 休日雨に息子とたつ厨辺にけんちん汁の湯気の温もり 金崎 山田 雅子
 ふれあいの広場に老母は友見つけかぼちゃ見ている我を置いてく 上日野沢 四方田利男
 旅人はここが名所と忖めば我は介護と車中に走る 下日野沢 安井 光代

引間豊作選 投稿数24句

すりぎずの膝を正して七五三 下日野 中田 久恵
 (評) お父さんお母さんに連れられ紅葉に映える産土神の神域に七五三のお祝いの神参り。初めて座る神前の雰囲気に緊張をみて、新調の洋服もまだ子供向の半ズボン。そこからむき出しの膝小僧が可愛い。そのやんちゃ盛り膝には腕白さかりの勲章とおほしき傷跡がのぞく。ふたんあまり座りなれない足のことしびれが切られればよいが。道男句の秋蝶、風のみちを渡って来た疲れを垣根に止って癒す姿が良い。民子句の冬薔薇の二花も秋の繚乱たる景色が退いた庭園には、わずかの紅点か辺り一面の空気の彩まで演出してくれる。

秋蝶の垣根に倚れる風のみち 袴着の声に顔上ぐ池の亀 三沢 真下 杏子
 下日野 藤原 道男
 冬薔薇の二花に庭の彩つきぬ 花野辺に夕日を返す野点かな 下日野沢 植木 豊子
 三沢 新井 民子
 悠然と坂東太郎秋収む 下日野沢 藤田 稔
 国神 松岡 知恵
 稲刈りの親子鴉の遠まきに 下日野沢 引間富美子
 細流の水面に遊ぶ紅葉舟 寄りそつて秋草の如鮮やかに 下日野沢 河原 昭子
 下日野沢 田端 マサ
 空見つめ大きく秋と天にかく 立冬や便座の温度を中に変え 大淵 金室 富雄
 三沢 石森 勝子
 天・し鷺のくるーリピーヒョロロ 皆野 大沼シヅ子

俳句・短歌を募集
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して企画課へお寄せください。
 8日必着 1人1句、1首に限ります。

平成19年工業統計調査



12月31日(月) 現在

工業統計調査は、製造業の実態を明らかにするため、全国の製造業の事業所を対象として、毎年12月31日現在で調査を行っています。

12月中旬から、調査員がお伺いいたしますのでご協力をお願いします。

問合せ 企画課企画係 ☎62-1230 内線231